

全国学力学習状況調査の結果から見える子ども姿

◇シリーズその11◇

H26 結果速報

報道等でご承知のことと思いますが、4月22日に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表され、先日、本校の結果についても学校に届きました。

都道府県別の結果で、北海道は中学校国語Aで全国の平均正答率を上回りました。小学校はすべての教科・科目で全国の平均正答率を下回り、全国でも下位に位置しています。しかし、その差は縮まり、改善の傾向が見られました。

本校における全体的な傾向は、どの領域も概ね全国平均を上回る状況であり、特に昨年来より校内研究として取り組んできた「書く」については国語A、国語Bともに伸びが見られます。（毎週金曜日の作文の宿題には、ご家庭にもよく協力していただいております。このような成果がみられ、たいへん嬉しく思っています。）

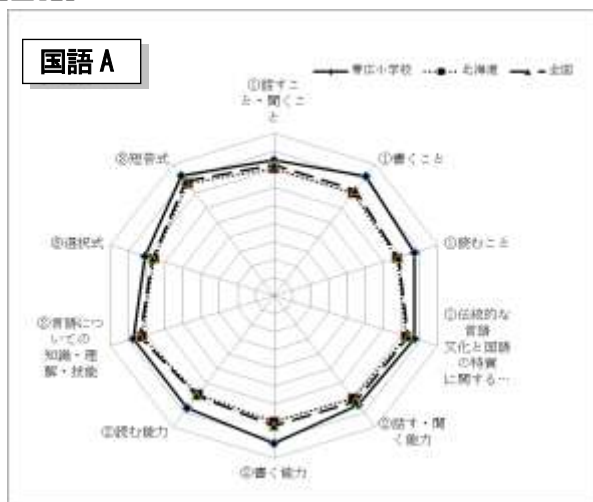
しかし、算数の「量と測定」をはじめしっかり身に付いていない領域もありますので、今後とも基礎基本の確実な定着を図り、更なる学力向上に向けた地道な努力を続けてまいります。

個人の結果につきましては先週配布しましたが、「よくできているところ」や「課題となるところ」等を確認するなど、ご家庭でもぜひ話題としていただきたいと思います。

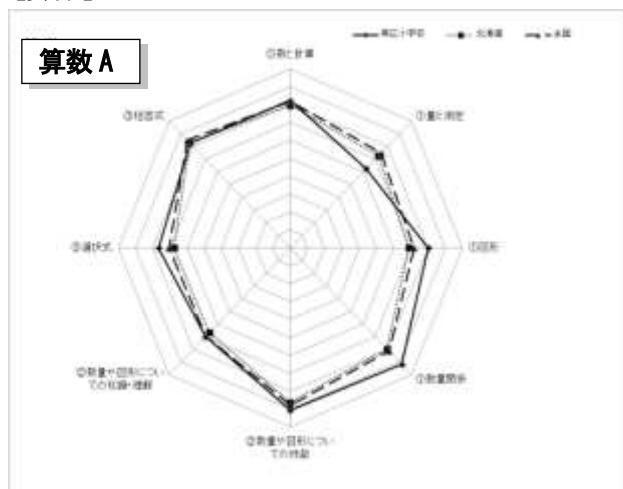
なお、後日になりますが、帯広市教育委員会がまとめている本市全体の状況等とあわせて、詳細な学校の状況をお知らせする予定です。

平成26年度 全国学力・学習状況調査結果

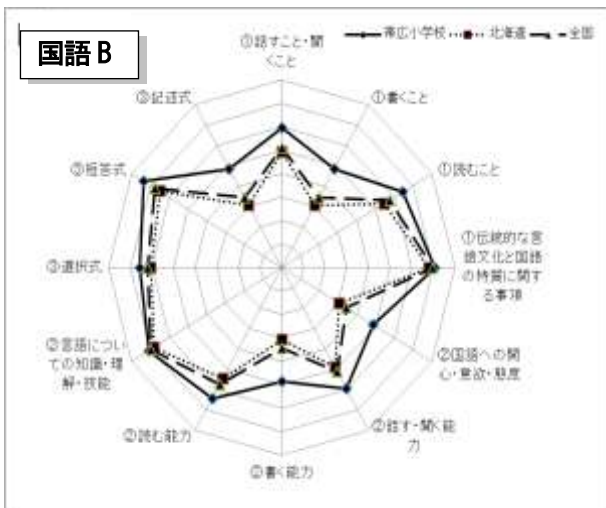
【国語】



【算数】



【国語 B】



【算数 B】

